

# 令和8年市町村広報コンクール審査票（市部）

一席：広報みどり 12月号

## 審 査 評 価

### ■全体について

- ・特集にしっかりとページ数を割き、大きく魅力的な写真と動きのあるレイアウトにより、見ごたえ、読みごたえのある紙面を実現している。
- ・色数を抑えたデザインがすっきりと見やすい印象を与える。
- ・右開きの構成で、表紙を開くと横書きではじまるものの、内容のまとまりを縦でとっており、工夫がなされている。
- ・みどり市は子どもを表紙にし、中面では世代を超えた声を拾っており、編集者の熱意を感じる。

### ■特集「子育てがアツいまち」について

- ・行政が力を入れている子育てを重点的に取り上げておりメッセージが分かりやすかった
- ・特集「子育てがアツいまち」の写真がいきいきしている。
- ・多くの人々が不安を感じる共働きの中での子育てをテーマに据えた点が素晴らしい。その中でしっかりと市の子育て支援策の充実ぶりや結婚、出産まで支援を広げていることを紹介し、支援にかかわる人の思いも描いていて、とても読ませる。文章もやわらかく上手で、この特集を読んで県内外の人が「みどり市に住みたい」と思わせる中身に仕上がっている。写真も子どもたちや関係者の生きいきとした表情をとらえていて、企画全体を明るくしている。
- ・子育てに力を入れていることが伝わる内容。ボリュームがあり、写真も良い。
- ・子育て支援が盛んで、支援の充実が伝わる。

# 令和8年市町村広報コンクール審査票（市部）

二席：広報まえばし 8月号

## 審査評価

### ■全体について

- ・記事がバラエティ豊かで情報量が多い。
- ・右開きの構成であるが、縦組みと横組みがうまく組み合わせられている。
- ・企画に目が行く。内容が厚く、読み応えがある。

### ■特集「80年前の記憶を今に」について

- ・戦後80年の節目にしっかり特集が組めた。
- ・発行年（令和7年）及び発行月（8月）に合わせた特集記事「80年前の記憶を今に」は、前橋市に焦点化した充実した取材と提示となっている。米国国立公文書館所蔵写真の提示もあり、史料性にも富んでいる。
- ・戦後80年の特集を8月号に掲載し、その特集の中身が充実している。80年前の写真と現在の写真、地図をきれいに配置し、レイアウトも素晴らしく、読みやすい。多くの人をインタビューし、その内容も読ませる。
- ・字の大きさ、行間のスペースもほど良く、文章もわかりやすい。
- ・「戦後80年」というテーマ設定が良く、レイアウトも上手で、うまくまとまっている。
- ・前戦後80年という時期性が良く、全国的ではなく「前橋ならではの」情報があり、市民にとって意義がある。

### ■その他の記事について

- ・「女子プロスポーツチームと前橋市長 座談会」は、地域プロスポーツを盛り上げることに貢献できる記事である。

# 令和8年市町村広報コンクール審査票（市部）

三席：広報しづかわ 5月号

## 審査評価

### ■全体

・右開きの構成であるが、内容のまとまりに合わせて、縦組みと横組みがうまく組み合わせられている。

### ■特集「渋川市（このまち）をなくさない。—しづかわの未来を共に考え、共に創る—」について

・少子化問題を多角的な視点で取材、掲載できた。

・特集の冒頭から「このまちをなくさない」という強い危機感、読者への問題提起を明確に打ち出している。特集の最後に、ではどうすべきか、という一定の着地点を示せるとさらによかった。

・「渋川市（このまち）をなくさない。」では、4～5ページにまとめられた記事の種類に多様性がある。

・硬派なテーマを取り上げた企画の中で、市が今後直面する課題を分かりやすく指摘している。子どもたちの写真もテーマの重要性をうまく引き出している。立場の違う人へのインタビューでも市への要望をきちんと書き込み、市の本気度を感じる。レイアウトもグラフや写真をバランス良く配していて見やすい。

・タイトルの付け方が上手。

### ■その他の記事

・「渋川市カレンダー」の利用価値が高そうである。市民の評価を知りたいところである。